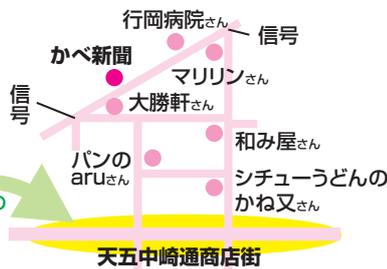


ドバツと、ドドンと また新聞の夕刊が やってくれてる と思ったら、 組立通信さんやん。



この朝日新聞さんの写真は、この天五中崎通商店街で撮られたものだった!(たぶん)

右後ろに「おいでやす通り」の赤い旗が見えるよ

発行日 2010年4月14日 (夕刊)

「ドバツと」ケチャップ何ぞ?
「スカットと」どんなカクテル?

関西語感「ドドン」と発信

オノマトペ研究会が本発刊

「チャチャとすすめる」「ドシンと突っ込む」といったオノマトペ(擬音語・擬態語)は、日常会話ではむしろ欠かせない。飛ぶ交る関係人の会話を面白くかしく綴った本が、話題を呼んでいる。関西をカクテルに例えて語感を解説し、聴感の広い関西弁の魅力を発信している。



「オノマトペ研究会」は、オノマトペ(擬音語・擬態語)を研究する会。関西をカクテルに例えて語感を解説し、聴感の広い関西弁の魅力を発信している。本をまとめた書籍『オノマトペ研究会』(中巻)は、大阪府北区...

『朝日新聞』さん「二〇一〇年四月十四日(水)夕刊三版十面より」

先週、「かべ新聞」を休みました。とりたてて、何か事情があったわけではありません。パツとしたかったんです。しかし、世間の風は冷たく、いや、季節の風は冷たく、春かと思えばまた冬に。コートをもう一度羽織らなければいけないことになりました。こんな四月、誰が想像できたでしょうか。

「地球温暖化は、どこいった？」

そんなことで、「パツ」とする「かべ新聞」が出せなくなっていたところ、「ドバツ」と、「ドドン」と、

「地球温暖化は、どこいった？」

そんなことで、「パツ」とする「かべ新聞」が出せなくなっていたところ、「ドバツ」と、「ドドン」と、

「地球温暖化は、どこいった？」

そんなことで、「パツ」とする「かべ新聞」が出せなくなっていたところ、「ドバツ」と、「ドドン」と、

先週、「かべ新聞」を休みの水曜日。内容は、左に引用した記事の通りなのですが、関西独自の擬音語や擬態語(「オノマトペ」というそうです)を集めた本が完成。その本が話題を集めているそうです。作ったのは、「こそっと関西オノマトペ研究会」。代表は、ラジオパーソナリティーのあの豊島美雪(とよしま・みゆき)さんです。

と、思って、この新聞記事を読んでいたのですが、あれ〜? この記事の写真に載っている場所って? そして、豊島さんと一緒に写っている人たちって? 産経新聞さんの「刀餅食堂」さんに続き、もしかして、もしかして、

もしかして、またもや天五中崎通商店街さん?

本の名前は「キュッと曲がって90度!」A5判64ページで890円(税込)らしいです。

問い合わせはファックスで組立通信さんへ
ファックス 06-4802-0209

次の「かべ新聞」は、パツといきます、いかせてください、いきたいんです。(でも、社長にはまだ内緒です)